

歩みつづけること

JAL不当解雇撤回争議団

松山市在住 林 恵美

年々秋が短くなっている気がするのは私だけだろうか？暑すぎる夏から冬へ向かう間のひんやりした空気が心地よい。夜空の月や星も輝きを増す。そういえば南十字星とオーロラが見てみたいというのも空の仕事を選んだ他愛ない動機の一つだった。

今年の大晦日で解雇されてから丸10年。隔月に発行するこのニュースは50号になる。欠かさず発行できたのは支援して下さる皆様のご協力があったことだ。心から感謝したい。



2019年6月 松山民会館

今号はこれまで共に運動してきた全厚生不当解雇撤回四国闘争団長の児島さんが応援記事を快諾して下さいました。裁判はJALと同じく不当判決で終結したが労働者の尊厳を守る運動は引き継がれる。更に連帯を広げたい。とは言うものの闘争ニュースは勝利報告ニュースで早く締めくりたい。

争議団は支援者から叱咤激励の言葉を多く頂くが、一方で未だ解決できないJAL経営はその能力を問われているのではないか。このままでは、いずれ政治の場でも追及されるだろう。解雇通知のあと本社近くの居

酒屋で乾杯していた管理職達は己の不徳を振り返ることはなかったのだろうか？現場の最前線で安全運航の要を担ってきたのはベテラン乗務員であったはずだ。
(裏面に続く)



10月21日 マスク姿の県庁前宣伝

私も 応援します

いつも元氣と勇氣をもらっています

全厚生不当解雇撤回

四国闘争団長

児島文彦

松山市内で合同の宣伝行動をおこなうようになってから丸9年が経過しました。初めて合同

で取り組んだのは2011年10月18日です。

社保庁の闘いは、2010年4月28日に全国に先駆けて愛媛の支援共闘会議を立ち上げていただき始まりましたが、JALの不当解雇がおこなわれたのは、私たち社保庁の1年後の2010年末でした。1年前から宣伝行動を始めていたので、JALの方たちは当初、遠慮がちに参加されているように感じましたが、次第に本領を発揮され、今では軒を貸して母屋を取られたという状況です。(笑)

とにかく元氣で、明るくて、華やかですよね！
いつも元氣と勇氣をもらっています。

今、日本社会では、自公政権による解雇自由な社会の推進とコロナ禍の中で新たな解雇が拡大しています。社保庁の支援共闘会議は、先月に開催した定期総会をもって解散しましたが、幸いにも、安心して老後を迎えられる公的年金制度の実現と社保庁支援共闘会議の闘いを引き継ぐために、「安心・信頼のできる年金の実現をめざす愛媛の会」を立ち上げることができました。これからも一緒に頑張っていきましょう。

JAL愛媛原告を支える会



ニュース



発行：JAL不当解雇とたたかう愛媛原告を支える会
連絡先：愛媛自治労連会館3F愛媛労連内
松山市三番町8-10-2 Tel. 089-945-4526

JAL 愛媛原告を支える会 支える会ニュース

2013年1月25日～

回重ねて

50号

コロナ後の社会をこれまで通り効率優先で監視を進める分断社会にするのか、人間を大切に共生・連帯の世界にするか問われている。アメリカの国民は「団結」を呼び掛ける大統領を選んだ。ベラルーシ出身のノーベル賞作家でジャーナリストのズヴェトラナ・アレクシエ

ーヴィッチ氏は福島原発事故の被災地を訪ね日本には抵抗という文化がないように感じると言った。理不尽な仕打ちに声をあげ行動すること。学術会議任命が抗議の声を上げていくことだ。拒否問題では多くの分野の人々が抗議の声を上げていく。政府に異議を唱える知性を切り捨てることと「安全」を守るために

会社の意に沿わない提言をしてきたベテラン労働者の首を切ることは同じ構図ではないか。労働者の権利を守ることは国民の人権を守ることであり、社会を人間中心に変えていくことだ。諦めず声を上げ行動を続ける事が抵抗する文化を育てていくに違いない。

No. 12
2014年8月20日

JAL 愛媛原告を支える会 おの空へ 帰ろう

勝利にむけて
支援の意を固めよう!!

7.25
勝利を告げる

7月25日、伊予郡砥部町にある「JAL 愛媛原告を支える会」の集まりの様子。参加者たちは勝利を喜び、支援の意を固めようとしている。

No. 13
2014年8月20日

“1兆円儲けてから 安全語れ” 断罪された管財人の行為

客室乗務員原告 林 恵美 (松山市在住)

断罪された管財人の行為

「1兆円儲けてから安全語れ」と断罪された管財人の行為。客室乗務員原告の林恵美氏が訴えている。

No. 34
2014年8月20日

あきらめず闘いぬこう!

愛媛では「伊豫豆比古命神社」...

あきらめず闘いぬこう! 愛媛では「伊豫豆比古命神社」で毎年旧暦の正月8日に行われる「梅まつり」が伊予路に春を呼ぶ。「愛媛」は「三祀祀らるる女神」(愛比売命)「あひめのみこと」から名づけられた。

No. 35
2014年8月20日

ベテランには「空気を読む力がある」

大池ひとみ (西予市在住)

ベテランには「空気を読む力がある」。大池ひとみ氏が語る。

No. 36
2014年8月20日

敗けてたまるか

伊予郡砥部町在住 二宮治夫

敗けてたまるか。伊予郡砥部町在住の二宮治夫氏が語る。

No. 37
2014年8月20日

JAL 食の安全安心とともに 食の安全安心とともに 食の安全安心とともに

愛媛県労働連 事務局長次 吉田泰臣

JAL 食の安全安心とともに。愛媛県労働連事務局長次 吉田泰臣氏が語る。